

成果指標に関する施策の現時点の状況等

指 標	3 介護予防教室の開催数			
進捗状況	(参考) 2021年度 (通年実績)	2022年度 (9月末時点実績)	2022年度 (通年見込)	目標値
	600回	266回	630回	600回
<p><現時点での評価></p> <ul style="list-style-type: none"> 2021年度に、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、教室を再編成(6教室→2教室)し、定員を以前の50%とした上で、開催コース(会場)数を拡大(全34コース→全40コース)した。 2022年度は、申込者が多い「マシンで！筋力アップ教室」を拡大(3コース→4コース)して実施。(2教室, 21コース×2期=全42コース) 現時点での実績は、計画どおり推移しており、目標値を達成する見込である。 				
<p><課題や対策, 今後の展望など></p> <ul style="list-style-type: none"> 今後も、介護予防教室の効果的な手法を調査・研究しながら、継続していく。 				

指 標	4 リハビリテーションサービスの利用者割合			
進捗状況	(参考) 2021年度 (通年実績)	2022年度 (8月末時点実績)	2022年度 (通年見込)	目標値
	7.3%	7.5%	7.3%	7.5%超
<p><現時点での評価></p> <ul style="list-style-type: none"> 訪問および通所リハビリテーションサービスの利用実績は、2020年度の24,631人から2021年度に25,309人と約2.8%増加しているが、在宅サービス全体の増加率(約4.4%)より低く、目標値を超えなかった。 2021年度における訪問・通所別の増加率は、訪問が約6.2%の増加であったものの、通所が約1.1%と低くなっている。当該年度は、新型コロナウイルス感染者が急増した期間があったことから、通所利用の伸びが抑制された可能性がある。 今年度8月までの各月実績では、目標値である7.5%に近い割合で推移している。新型コロナウイルス感染予防対策などが利用の回復に寄与しているものと推察される。 ただし、今年度下半期は、新型コロナウイルス感染者の発生件数が高止まり傾向にあるため、前年同様の利用者割合が見込まれる。 				
<p><課題や対策, 今後の展望など></p> <ul style="list-style-type: none"> 当該サービスの利用者は増加しており、今後も適切にサービス提供を継続していくためには、利用者が希望するサービス内容と、それに対する事業者の対応などの、実際の需給状況に係る検証が必要になるものと考えている。 				

指 標	5 認知症サポーター養成研修の受講者数			
進捗状況	(参考) 2021年度 (通年実績)	2022年度 (9月末時点実績)	2022年度 (通年見込)	目標値
	累計 16,633 人	累計 16,919 人	累計 17,633 人	累計20,000人超
<p><現時点での評価></p> <ul style="list-style-type: none"> コロナ禍での認知症サポーター養成研修について、開催方法などを模索しながら実施しているが、予定を下回っている。 				
<p><課題や対策, 今後の展望など></p> <ul style="list-style-type: none"> 若い世代の認知症サポーターを養成するために、地域や職場だけではなく、小・中・高・大学生など若年層へ向けた事業の普及啓発を推進していく。 				

指 標	6 はこだて医療・介護連携サマリー活用機関の割合			
進捗状況	(参考) 2021年度 (通年実績)	2022年度 (9月末時点実績)	2022年度 (通年見込)	目標値
	58.5 %	49.4 %	49.4 %	52.5%超
<p><現時点での評価></p> <ul style="list-style-type: none"> 直近の第9回サマリー活用状況調査によると、サマリリーの活用割合は49.4%であったが、第8回サマリー活用状況調査における活用割合は57.3%、第7回サマリー活用状況調査における活用割合は59.6%と、目標値を大きく上回る結果であった。 第9回サマリー活用状況調査では、その過去2回の調査より割合が下回る結果となっているが、これまでの活用状況調査の結果を踏まえると、「はこだて医療・介護連携サマリー」は、医療・介護関係者間で患者や介護サービス利用者の情報共有を行うための市独自のツールとして、定着しているものと推察される。 				
<p><課題や対策, 今後の展望など></p> <ul style="list-style-type: none"> このサマリーは、函館市医療・介護連携推進協議会の情報共有ツール作業部会等において、本市の医療・介護関係者からの意見をいただきながら、適宜、改良を重ねているものである。 今後も、より良い情報共有のあり方を目指し、分かりやすく利用しやすいサマリーに更新し、市内の医療機関や介護施設等への更なる普及を進める。 				